

千葉県第2ブロック 3年生大会 実施要項

1. 名 称 千葉県第2ブロック3年生大会（千葉県ケーブルテレビ杯 千葉県少年サッカー選手権 3年生「8人制」出場権ブロック予選）
2. 主 催 （公社）千葉県サッカー協会 第4種委員会
3. 主 管 （公社）千葉県サッカー協会 第4種委員会 第2ブロック
4. 参加資格 (1) (公財)日本サッカー協会に団体登録、個人登録済のチーム選手で構成された3年生以下のチームであること。
複数のエントリーも可とするが、下級生のみ(3年生未登録)でのエントリーは認めない。
(2) 所定の大会申込み手続きを終えたチームであること。
複数エントリーの場合、3年生が16名以上の場合に限る。
(3) 複数エントリーチームは選手入れ替えはいかなる事情があっても認めない。
5. 参加費 1チーム 5,000円（総会時に徴収する）
6. 大会日程 予選リーグ戦は平成28年8月21日(日)までに各主管チームにて終了のこと。
決勝大会 決勝トーナメント戦 平成28年9月4日(日)、9月18日(日)「おおたかの森スポーツフィールド」
予備日 9月24日(土)、25日(日)「おおたかの森スポーツフィールド」
7. チームの構成と条件 (1) チームの構成は引率指導者3名以内、選手6名以上16名以内であること。
条 件 ① 引率者は当該チームを掌握指導し、責任ある指導者である事。JAF指導者ライセンス認定者を1名以上帯同していること。
② 選手は健康であり、かつ保護者の同意のあるものに限る。
③ 参加チームはスポーツ傷害保険に必ず加入していること。
④ 参加チームは、千葉県公認審判員2名を帯同していること。
⑤ エントリー選手の追加については、自チームの最初の試合会場で、試合開始30分前までに承認を得ること。
控え用紙は以後の試合に必ず持参すること。
8. 競技規則 (公財)日本サッカー協会競技規則 最新版による。
試合運営方法 但し「8人制サッカールールと審判法」の適用に当っては以下のように修正を加え、第2ブロック大会規則として定める。
(1) 競技のフィールドについては次によるものを基準とする。
① 大きさは長さ68m、幅50mを推奨するが、試合会場により修正は可能とする。（概ね68～50m×50～40m）
② ゴールエリアはゴールポストの内側から外側へ4m、その地点からゴールラインに垂直に4m。
③ ペナルティーエリアはゴールポストの内側から外側へ12m、その地点からゴールラインに垂直に12m。
④ ペナルティーマークはゴールラインに垂直に8m。 センターサークルは半径7m
⑤ ゴールは会場に設置されているもの。
交代ゾーン: 自由な選手交代のため、ベンチ側のタッチラインのハーフウェーに6mの交代ゾーンを設ける。
（ハーフウェーラインを挟んで3mずつ）
⑥ その他、会場の広さに応じ変更することができる。
⑦ 予選リーグ戦は勝ち点方式とする。（勝ち＝3点、引分け＝1点、負け＝0点）各ブロック上位2チームは決勝トーナメント戦へ進出する。勝点が同じ場合は、得失点差、総得点、直接対決成績、PK(3名)にて決定する。
⑧ 予選リーグ各ブロック1位、2位にて決勝トーナメント戦を行う。
引分けの場合は、PK方式により次にすすむチームを決める。決勝戦のみ10分(前、後半それぞれ5分)の延長戦を行い、なお決しない場合はPK(3名)方式で優勝チームを決定する。
(2) ボール JFA検定4号ボールとする。
(3) 競技者の数および交代
① 8人(内1人はゴールキーパー)を基本とする。
② 交代要員および交代の最大人数は10名とし、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。
交代の回数は制限されない。
③ 交代の手続き
(1) 交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールド外に出る。
(2) 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
(3) 交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。
(但し、交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。)
(4) 交代について、主審、第4審判の承認を得る必要はない。
(5) ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。
④ 試合成立の競技者の人数は6人とする。

(4) 競技者の用具

- ① 試合ユニホームを 2 着(ストッキングも含む) 以上必ず用意すること。ビブス着用は不可。
- ② スパイクは固定式、脛当てを着用すること。
- ③ 競技者および交代要員の用具は審判員によって検査される。
- ④ 眼鏡については、主審が安全であると判断したものは着用できる。

(5) 審判

- ① 主審 1 名、副審 2 名、第 4 の審判 1 名の 4 名の審判で試合が運営される。
- ② 第 4 の審判の任務は次のとおりとする。
 - ・ 主審によって要請された試合前、中、後の管理上の任務を援助する。
 - ・ 交代の手続きが円滑に行われるよう、主審を援助する。
 - ・ チーム、競技者が試合中にフェアプレー精神あふれる行動やリスペクトある行動を取っていたのを見た場合、主審に知らせ、主審がグリーンカードを示す援助をする。
 - ・ 警告する競技者の特定を間違えて別の競技者が警告された場合や、2 つめの警告が与えられたにもかかわらずその競技者が退場させられない場合、また主審の見えていないところで乱暴な行為が起きた場合には、主審に合図する。
- ③ 警告は累積 2 回で次の 1 試合出場停止とする。退場は次の 1 試合出場停止とする(選手の補充は出来ない)。
- ④ 主審は、フェアプレー精神あふれる行動やリスペクトある行動を取った競技者にグリーンカードを示す。
- ⑤ 審判は審判服を着用し、会場受付で審判証を必ず提示する。
- ⑥ 主審は、試合終了後、審判報告書を作成し会場責任者に提出する。
- ⑦ 予選リーグの第 1 試合は試合の行っていないチームで行い、第 2 試合目からは試合終了した両チーム(試合の行っていないチーム) が責任を持って行う。審判の人数については従来通りとする。
- ⑧ 予選リーグ各ブロック 1 位、2 位にて決勝トーナメント戦を行う。
- ⑨ 各チームは、千葉県公認審判員 2 名を帯同すること。審判員のいないチームは試合参加を認めない。
- ⑩ ブロック決勝トーナメント大会においては、ブロック事務局が改めて審判の割振りを行う。
 - 引分けの場合は、PK 方式により次にすすむチームを決める。決勝戦のみ 10 分(前、後半それぞれ 5 分) の延長戦を行い、なお決しない場合は PK(3 名) 方式で優勝チームを決定する。
- ⑪ 予選リーグ結果報告を速やかに大会事務局に主管チームは報告をすること。
(予選リーグの結果報告は 8 月 21 日(日)までに事務局まで報告の事 厳守)

(6) 試合時間

- ① 試合時間は 30 分間とする。(前後半とも 15 分間)
- ② ハーフタイムのインターバルは 5 分間とする。
- ③ キックオフから直接相手のゴールに入った場合、得点は認められず、相手のゴールキックで再開される。
- ④ その他のルールは公益財団法人日本サッカー協会『サッカー競技規則 最新版 に準ずる』

9. 試合の運営方法

- (1) 各チームは試合開始 30 分前までに会場受付にメンバー表の提出、エントリー表と選手証との照合・確認を受けること。
(メンバー表は第 2 ブロック用を使用「レイソル野田 HP よりダウンロード可能」3 部提出する。)
- (2) 試合開始 30 分前までに本部席にメンバー表を提出し、エントリー表との照合、選手証(選手カード)による出場選手の確認を受けること。選手証のチェックは予選時から行う。
- (3) ベンチ入りできる人数は、登録選手 16 名以内、指導者 3 名以内とする。また、ピッチ内での練習も同様とする。
予選リーグは除く(但し交代要員にはならない)
- (4) 試合ユニフォームを正副 2 着(ストッキングも含む)以上必ず準備すること。
- (5) 予選リーグにおいて未消化の試合のないように主管チームに協力をお願いします。
- (6) ケガについては、応急処置を行うが、その後は各チームの責任において処置すること。
- (7) 会場内はすべて禁煙です。但し、喫煙場所が指定されている場合は、それに従う事。会場に絶対に迷惑をかけないようゴミ等は必ず持ち帰るようにする事。
- (8) 会場へは、公共交通機関を利用して下さい。やむを得ず車の場合は各チーム 4 台以内を限度とし、駐車の際は車のフロントにチーム名を書いた用紙を必ず置くこと。駐車については各会場の会場責任者、会場管理者の指示に従うこと。
会場付近の路上駐車、会場付近のお店等には絶対に駐車はしないこと。マイクロバス利用の場合は、必ず会場責任者へ連絡し、了解を得ること。(マイクロバスは車 3 台分とします)また、安全運転を心がけ、事故等ないように注意すること。

10. 表彰

優勝、2 位、3 位(2 チーム) を表彰する。